

令和4年度 社会福祉法人杉戸町社会福祉協議会 事業報告

令和5年3月31日現在

1 社協財源の確保と組織の強化

(1) 会員の募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、募集時期については各地域の実情に合わせての実施をお願いした。支部長(区長)、班長等の協力により各世帯に社協会員加入を呼びかけた。

会員種別	加入世帯数	会費実績額
一般会員	9,439 世帯	4,746,100 円
賛助会員	115 世帯	345,500 円
特別会員	31 世帯	310,000 円
合計	9,585 世帯	5,401,600 円

会員加入率: 48.5 %

(2) 社協だより広告掲載

社協だよりに広告スペースを設け、企業等の広告掲載をした。

企業等広告掲載件数: A広告21件 B広告3件

(3) 使用済み切手等の収集

使用済み切手や書き損じ・未使用はがき等を収集し、その益金を社協事業の財源とした。

切手整理ボランティアの活動により整理された使用済み切手を送付することにより、5,390円を得た。

(4) 福祉バザー

第15回杉戸町障がい者週間記念事業の一環として、青空市に参加した。

実施日:12月4日(日) 於:すぎとピア屋外

売上金:31,490円

(5) 入れ歯リサイクル

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会(坂戸市)への事業協力として、不要入れ歯の回収ボックスを杉戸町役場とすぎとピアに設置した。

収益金:29,877円

(6) 自動販売機の設置【収益事業】

公共施設等に自動販売機を設置した。

設置場所:①杉戸町役場②エコ・スポいずみ③リバティーホール杉戸④環境センター⑤西近隣公園⑥倉松公園⑦さくら公園⑧国体記念運動広場⑨南グラウンド⑩南テニスコート⑪西公民館⑫南公民館⑬高野台駅東口⑭高野台駅西口⑮深輪健康公園⑯屏風フットサルパーク⑰いずみ公園

2 啓発活動の促進

(1) 社協だよりの発行

広報紙(すぎと社協だより)を年3回発行した。

号	発行日	発行部数	主な内容
第97号	令和4年7月1日	19,500部	令和4年度事業計画・予算、赤十字社員増強運動実施報告、令和3年度事業報告・決算
第98号	令和4年11月1日	19,500部	社協会員加入状況報告、夏のボランティア体験
第99号	令和5年2月1日	19,500部	共同募金、歳末たすけあい募金実績報告

点字サークル「杉」の協力により社協だより点訳版を作成し、公共施設に設置及び個人に送った。

音訳ボランティア「あいうえお」の協力により社協だより音訳CDを作成し、公共施設に設置及び個人に送った。

(2) ホームページの活用

ホームページを開設し、社協事業の周知、報告等情報を発信した。

更新回数:17回

アクセス回数:1,756回(令和5年1月~3月末)

(3) 啓発品の活用

社協の知名度向上や福祉意識啓発のためのマスクを作成し、イベントや講習会時に配布した。

3 地域福祉

(1) 支部社協活動の推進

① 支部育成費助成

前年度会費実績の支部(43支部)に対し、会費実績額4%+均等割り3,000円を助成した。

助成額:341,484円

② 支部活動費助成

支部で行う地域福祉活動に対し100,000円を限度に助成した。

申請支部数:11支部

申請助成額:1,010,000円

(2) 友愛訪問

民生委員の協力により、一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者、認知症高齢者に対し、慰問を実施した。

対象者数:521人

(3) 長寿記念品

長寿夫婦(51組)に記念品(高級煎茶)を贈った。

(4) 障がい者週間記念事業

杉戸町、杉戸町障がい者協議会と共催により、障がい者への理解と共生社会を目指し、開催した。

実施日:12月2日(金)~4日(日)

場所:すぎとピア

内容:団体活動発表、杉中吹奏楽演奏、福祉団体等の活動紹介展示、アールブリュット展、青空市など

(5) 歳末たすけあい運動

一人暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者(児)、一人親家庭等に民生委員の協力により歳末援護金を贈った。

配分件数:110件

配分額:702,000円

(6) 彩の国あんしんセーフティネット事業

社会福祉法人椿寿会と協働して、利用可能な制度や支援機関への紹介を行うとともに、相談者が逼迫した状況にある場合は経済的援助(現物給付)を行うなど、即応的かつ継続的な支援を行った。また、生活困窮者の自立支援機関であるアスポート相談支援センター埼玉東部と連携し、生活困窮者の自立に向けて支援した。

相談件数:1件

支援件数:1件

(7) フードバンク事業

生活困窮者が逼迫した状況にある場合に、他事業や他機関による支援と合わせて経済的支援(現物給付)を行い、自立を支援した。

相談件数:38件

支援件数:38件

(8) フードパントリー事業

「すぎと居場所づくり応援隊」が実施したひとり親家庭を対象に食料等を無料で配布するフードパントリーに協力・支援した。配布数:5月70世帯、7月67世帯、9月79世帯、11月82世帯、1月85世帯、3月88世帯 計471世帯(対象児童は計744人)

(9) 見守りネットワーク

杉戸町あんしん見守りネットワークに参加した。また杉戸警察署と見守りネットワークにおいて、社協事業を通じ高齢者等の見守りをした。

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター運営事業

町内で活動するボランティア団体や個人のボランティア活動を支援した。また活動を始めたい人の相談やボランティア保険の受付事務等を行った。

① ボランティア登録者

区分	団体(人)数
団体(人)	22団体(853人)
個人	52人

② ボランティアの需給調整

ボランティア活動を希望する個人・団体と、支援を求める団体等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行った。

・ボランティア依頼件数 63件

- ③ ボランティア保険の受付
ボランティア保険加入者数:510人
- (2) ボランティア体験事業
ボランティア活動の「体験」の機会を提供し、ボランティア活動への興味・関心を深め、地域で共に支え合う「福祉のまちづくり」の推進を図ることを目的に実施した。
参加延べ人数:78人
- ① ボランティア活動・はじめの一步 実施日:8月9日(火) 参加人数:1人
初めてボランティア活動をする方を対象に、ボランティア活動の心構え、知識の習得を図った。
- ② 手話であいさつしてみよう! 実施日:7月28日(木) 参加人数:12人
「おはよう」「こんにちは」など、あいさつの表現や簡単な会話を学ぶことにより、福祉について考えるきっかけの場を提供した。
- ③ 切手整理をしてみよう 実施日:8月2日(火) 参加人数:5人
寄附でいただいた使用済み切手の整理を行なった。使用済み切手の用途、リサイクル活動の啓発、自宅等で気軽にできる活動の1つであることなど、理解が深まった。
- ④ ポリ袋で非常食を作ろう 実施日:7月29日(金) 参加人数:11人
親子で非常時の炊き出しを経験することで、家庭内での防災意識の向上を図るとともに、身近な食材で簡易な非常食を作ることができることを学んだ。
- ⑤ 筆談用ミニボードを作ろう 実施日:8月19日(金) 参加人数:9人
筆談用ミニホワイトボードを作成し、聴覚障がい者や耳が聞こえずらい人への理解を得るとともに、情報保障の必要性を学んだ。
- ⑥ 会えなくても繋がろう～手紙に思いを込めて～ 参加人数:33人
高齢者施設利用者・入居者との手紙のふれあいを通じ、高齢者を思う心とボランティア意識の向上を図った。
- ⑦ 小学生とふれあおう 実施日:7月21日(木)～8月26日(金) 参加人数:7人
放課後児童クラブでの保育体験で児童との交流を通じ、ボランティア意識の向上を図った。
- ⑧ 体験メニューを用意したが参加が得られなかったメニュー
・楽しくからだを動かしながら交流しよう。障がい児・者交流体験学習(MG体操等)
- (3) 福祉ボランティアパートナー制度
- ① ボランティアパートナー団体
社協との協働という視点にたち、対等なパートナーとして活動する福祉ボランティア団体を募り、福祉ボランティア活動を推進し、福祉のまちづくりに活かした。
福祉ボランティアパートナー団体:
①点字サークル「杉」②音訳ボランティア「あいうえお」③杉戸要約筆記サークルつくし④杉戸手話サークル⑤杉戸すまいる⑥すぎとクイール⑦杉戸町福祉ボランティア連絡会⑧ふれ愛フレッシュ⑨あおイトマトの会⑩みみの会⑪ぽっぽはうす⑫NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ⑬すぎと居場所づくり応援隊⑭杉戸町身体障がい者福祉会(14団体)
- ② ボランティアパートナー団体支援
ボランティアパートナー団体に対し、団体の自主事業に対する経費を助成した。
助成団体:①点字サークル「杉」②音訳ボランティア「あいうえお」③杉戸要約筆記サークル「つくし」④杉戸手話サークル⑤杉戸すまいる⑥ふれ愛フレッシュ⑦あおイトマトの会⑧みみの会⑨ぽっぽはうす⑩NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポ⑪すぎと居場所づくり応援隊(11団体)
助成額:690,000円
- (4) ボランティア講習会
- ① 手話奉仕員養成講習会
聴覚障がい者の理解と手話技術習得を目指し、手話奉仕員を養成した。
- ① レベルアップ
実施日:5月10日～7月26日(毎週火曜日)(全12回)
場所:すぎとピア
参加人数:7人
- ② 入門課程
実施日:9月1日～3月9日(毎週木曜日)(全25回)
参加人数:14人

- ② 要約筆記講習会
聴覚障がいへの理解と要約筆記基礎知識と技術の習得を目指し、PC要約筆記奉仕員を養成した。
実施日:8月31日～11月2日(毎週水曜日)(全10回)
場所:すぎとピア
参加人数:4人
- ③ ガイドヘルプ講習会
視覚障がい者の社会参加を推進するため、知識や基礎的技術を習得し、ガイドヘルプボランティアを養成した。
実施日:5月16日～6月13日(毎週月曜日)(全5回)
場所:すぎとピア、すぎとピア周辺、杉戸町市街地、東武動物公園駅
参加人数:12人
- (5) おもちゃの病院
「おもちゃドクター養成講座」受講生のドクターが、ものを大切にする心の醸成、世代間交流を目的に、おもちゃの病院を開院し修理を行った。
診療件数:42個 うち完治35個(完治率83.3%)、修理不能7個
- (6) ボランティアセンターだより
年3回ボランティアセンターだよりを発行し、ボランティア団体の活動紹介、各種講習会の情報提供、報告を行った。(7月、11月、2月発行)
- (7) ボランティア情報紙
年6回奇数月に情報紙を発行し、団体・個人ボランティア並びに住民の皆様にはボランティアに関する情報を提供した。
- (8) いきいきふれあいまつり2022
杉戸町福祉ボランティア連絡会と共催により開催。町内で活動する福祉ボランティア団体の活動紹介と体験を通じて、ボランティア意識の高揚を図るとともに、杉戸町役場各課・杉戸消防署・杉戸警察署の協力により、防災・防犯意識向上の啓発を図った。
実施日:10月15日(土)
場所:すぎとピア全館・保健センター駐車場
参加人数:350人
内容: ボランティア体験スタンプラリー、消火体験、ミニ消防車、白バイ・パトカー試乗、福祉バザー・模擬店、奉仕団による炊き出し訓練、健康フェスタ2022、社協コーナー(切手整理・すぎびよんぬり絵)、福祉ポスター展
- (9) 災害ボランティアセンター
- ① 災害時のボランティア活動を円滑に進めることを目的として、町内ボランティアとして活動する意欲ある個人又は団体を「杉戸町災害ボランティア」として登録した。
登録数:8団体(163人)・個人2人
- ② 災害救援ボランティア講習会
地域住民や各種関係機関が一定の知識と理解を蓄積し、大規模災害時における災害ボランティアセンターの役割について共通認識を深め、“いざ”という時のために災害ボランティアの育成を図った。
実施日:2月13日(月)
場所:すぎとピア
参加人数:71人
- ③ 災害ボランティア情報紙
災害ボランティア登録の団体・個人に対して、災害ボランティアに関する情報紙を年1回発行し、情報提供した。令和4年度は1月期ボランティア情報紙との合併号として発行した。
- (10) プルタブ・ペットボトルキャップ回収運動
アルミ缶のプルタブやペットボトルキャップを回収し、車いすやワクチンを贈る運動に参加した。
・プルタブ 一斗缶1缶、段ボール10箱(約160kg)
・ペットボトルキャップ 回収開始時(平成26年4月より)累計個数3,441,655個 累計ワクチン3,764人分
- (11) 物品の貸出し
車椅子、白杖、高齢者疑似体験セット、アイマスク等を各種団体、小中学校に貸し出した。

5 福祉教育の推進

(1) 福祉協力校

① 小・中学校

町内の小・中学校を福祉協力校に指定し、交付基準に基づき1校70,000円を限度として助成し、福祉教育を推進した。

指定校：①高野台小学校②西小学校③杉戸小学校④第二小学校⑤第三小学校⑥泉小学校⑦杉戸中学校⑧広島中学校⑨東中学校(9校)

② 保育園・幼稚園

保育園、幼稚園に対して、1園20,000円を助成し、祖父母への手紙の作成等を行った。

指定校：①泉保育園②高野台保育園③すぎと保育園④高野台こどもの家保育園⑤みちのこ保育園⑥西幼稚園⑦中央幼稚園⑧すぎと幼稚園⑨白百合幼稚園(7園)

(2) 福祉教育の支援

① 福祉教育担当者会議

学校での福祉教育の推進にあたり、子ども達が直面する地域課題や学校での福祉教育の実践方法などを社協と学校が共有することで、子どもの健全な育成と充実した福祉教育事業の実践を図ることを目的に開催した。

実施日：8月4日(木)

場所：すぎとピア

参加人数：9人

② 福祉ボランティア体験指導者派遣

小中学校の総合的な学習の時間において行われる福祉体験学習の場に、登録ボランティア団体や福祉団体を派遣し、当事者の声を届けたり、正しい支援の仕方・注意点等の喚起に努める。令和4年度は新型コロナの影響もあったが、感染対策を徹底し昨年度より多くの派遣を行った。

派遣団体：杉戸町聴覚障害者協会、杉戸手話サークル、すぎとクイール、杉戸町社会福祉協議会

体験内容	高齢者	点字	ガイドヘルプ	福祉全般	パラスポーツ	合計
件数	2件	派遣辞退	3件	1件	1件	15件
体験内容	車いす	手話	要約筆記	当事者講話	その他	
件数	5件	3件	0件	0件	0件	

(3) 福祉図書デリバリー事業

埼玉県社会福祉協議会の整備する福祉図書やユニバーサルデザイングッズを活用し、児童が図書を通じて福祉に触れ、身近な社会への関心を高めることを目的に、福祉図書等の貸出事業の周知を行った。令和4年度は総合学習における資料としての貸し出しはなかったが、尽くし教育担当者会議において展示・周知を行った。

(4) 福祉ポスター展

小学5年生を対象に、福祉に関するポスターを募り、すぎとピア館内に展示した。提出した児童には表彰状と参加賞(漢字練習帳)をお渡しした。また、作品は社協ホームページ上に掲載した。

実施日：10月15日～11月21日※すぎとピア展示は11月14日まで

出展数：208点

① ヤングケアラー支援

福祉教育担当者会議において「ヤングケアラーについて」意見交換し共通課題としての認識を図った。

実施日：8月4日(木)

場所：すぎとピア

参加人数：9人

6 在宅福祉

(1) 訪問介護・障がい福祉サービス事業(すぎとピアホームヘルプサービスの運営)

① 訪問介護・杉戸町総合事業

介護保険法に基づき埼玉県・杉戸町指定事業所として生活援助・身体介護・杉戸町総合事業のサービスを提供した。

要介護区分：派遣時間 1,142時間、派遣回数 1,157回

要支援区分：派遣時間 246.25時間、派遣回数 293回

利用者数：32人(延 245人)

② 居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護

障害者総合支援法に基づき埼玉県指定事業所として居宅介護(家事援助・身体介護)及び重度訪問介護、同行援護のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業

派遣時間:309.5時間 派遣回数:396回
利用者数:6人(延54人)

イ 行動援護(利用者数 0人)

ウ 重度訪問介護(利用者数 0人)

エ 同行援護

派遣時間:232.5時間 派遣回数:78回
利用者数:2人(延24人)

③ ケアマネ&ヘルパー通信の発行

毎月1回、居宅介護支援事業所・訪問介護事業所利用者等に、健康づくりのための情報や脳トレ等を掲載した情報紙を発行した。

(2) 居宅介護支援事業(杉戸町社会福祉協議会居宅介護支援事業所の運営)

介護保険法に基づき指定居宅介護支援事業所としてケアマネジメント等のサービスを提供した。

要介護区分:利用者数 66人(延 498人)

要支援区分:利用者数 27人(延 246人)

(3) ふれあい家事援助サービス(まごころとどけ隊)

埼玉県地域支え合いの仕組み作り事業の一環として、杉戸町・杉戸町商工会と提携し、高齢者等の介護予防と地域商店の活性化のため、有償による家事援助サービスを行った。利用会員は1時間700円の利用券を購入、協力会員には1時間500円の地域商品券を交付した。

協力会員数:25人(うち活動者10人)

利用会員数:23人(うち利用者10人)

利用回数:197回

利用時間:209.5時間

協力商店数:150店

(4) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)

専門員及び生活支援員が利用者の自宅に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理の援助を行った。また、書類等預かりサービスによる重要書類等の保管を実施した。

利用者数:37人

訪問回数:337回

(5) 理容サービス

ねたきりの高齢者・障がい者等に訪問による理容サービスを利用できる利用券(3,000円の助成)を発行した。(年間一人当たり4枚まで)

利用者数:9人

利用回数:12回

(6) リフト付車両の貸出し

車椅子使用者等にリフト付車両の貸出しを行った。

利用者数:22人

利用回数:73回

車両数:2台

(7) 福祉機器の貸出し

介護を必要とする高齢者、障がい者等に車椅子の貸出しを行った。

利用者数:25人

利用回数:34回

7 指定管理

(1) 杉戸町彩の国いきいきセンターすぎとピアの管理運営

杉戸町彩の国いきいきセンターについて、杉戸町から「指定管理者」として指定されたことを受け、利用者が「安心・安全」に施設を利用できるよう、感染症対策の徹底に努めた。

(個人利用(お風呂、趣味活動室、集会室))

(単位:人)

項目	無料			有料			個人利用計	
	65歳以上			町内		町外		有料計
	町内	町外	計	一般	児童			
利用者数	15,731	5,079	20,810	104	0	1	105	20,915
月平均	1,310.9	423.3	1,734.2	8.67	0.0	0.08	8.8	1,742.9

(団体利用の件数)

(単位:件)

諸室名	多目的ホール	集会室	趣味活動室	講座室	創作室	計
利用件数	215	8	4	469	302	998
有料件数	19	5	0	257	151	432
免除件数	196	3	4	212	151	566
月平均	17.9	0.7	0.3	39.1	25.2	83.2

(団体利用者数)

(単位:人)

諸室名	多目的ホール	集会室	趣味活動室	講座室	創作室	計
利用者数	11,434	109	52	7,444	2,183	21,222
月平均	952.8	9.1	4.3	620.3	181.9	1,768.5

(2) ふるさと元気村

高齢者の運動機能の維持向上及び運動定着化を図った。

(利用者数) (単位:人)

項目	利用者数	登録者数	新規登録者数
利用者数	7,171	1,088	46
月平均	597.6		3.8

(3) オープンギャラリー

すぎとピア利用団体の活動等で積み上げた成果や作品を展示しているが、利用団体の活動自粛により申込みはなかった。

(4) 健康セミナー

生涯を通じて輝ける健康なまちづくりを目指して健康セミナー(ヨガレッスン)を開催した。

実施日:11月5日(土)

講師:ヨガティーチャー ロッティ氏

参加人数:①親子ヨガ2組4人 ②シニアヨガ35人 ③はじめてのヨガ10人

(5) 映画上映会

地域の憩いの場や社会参加のプラットフォームづくり推進のため映画上映会を開催した。

実施日:10月29日(土)

上映作品:①それいけ!アンパンマン 夢猫の国のニャニイ ②武士の一分

参加人数:167人(アンパンマン89人・武士の一分78人)

(6) まなびピア

町内の小中学生を対象に「宇宙開発や宇宙飛行士について」を学べる場を提供することで、地域の子どもたちに夢と希望を与える機会をつくることを目的に開催した。

実施日:11月12日(土)

講師:国立開発研究法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)広報部 特任担当役 宮里光憲氏

参加人数:73人

(7) 野菜直売デー

買物支援として毎週金曜日に野菜直売を実施した。

協力:アグリパークゆめすぎと

8 相談活動事業

(1) 心配ごと相談所

家族の問題、暮らし、住まいの問題等心配ごとについて相談所を開設した。

相談利用者数:2人

年間開設日数:12日

(相談事項及び件数)

・2件(財産 1件・その他 1件)

9 貸付事業

(1) 生活福祉資金等貸付事業

相談件数: 2件

貸付件数: 2件

貸付額:200,000円

① 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯の生活意欲の助長及び社会参加の促進を図り、経済的な自立を支援するために生活福祉資金の貸付相談窓口を開設した。

② 臨時特例つなぎ資金

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けする相談窓口を開設した。

③ 特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお困りの方に対し、当面の生活費に関する需要への対応として、緊急小口資金等の貸付相談や必要な支援をした。 ※9月末日で申請受付終了

特例総合支援資金貸付件数: 22件 貸付額:11,950,000円

特例緊急小口資金貸付件数: 24件 貸付額: 4,500,000円

(2) 福祉資金貸付事業

低所得世帯の方が臨時的出費、または収入欠如等のために生活が脅かされ、またその恐れがある場合に、その応急的需要を満たし、生活の安定と経済的自立の助長を支援するために資金の貸付をした。

貸付件数:55件

貸付額:2,114,000円

10 その他の福祉活動

(1) 福祉団体の育成・支援

福祉活動を行う団体に、その活動費を助成し、地域づくりの担い手として育成、支援した。

① 杉戸町老人クラブ連合会

杉戸町老人クラブ連合会の実施する各種事業への協力・支援をした。

② 杉戸町福祉ボランティア連絡会

杉戸町福祉ボランティア連絡会の実施する各種事業への協力・支援をした。

・いきいきふれあいまつり2022(再掲4(8)参照)

・ボランティア交流会

障がい者協議会の活動発表と町内で活動する福祉ボランティアと民生委員との交流を通じ、ボランティアと民生委員との連携について意見交換をした。

実施日:2月6日(月)

場所:すぎとピア

参加人数:68人

・ボランティア研修会

認知症に対する理解を深めるため「認知症サポーター養成講座」を開催した。

実施日:12月15日(木)

場所:すぎとピア

参加人数:29人

③ 福祉活動助成金

助成団体:①杉戸町老人クラブ連合会②杉戸町遺族会③杉戸町赤十字奉仕団④杉戸町民生委員児童委員協議会⑤杉戸町福祉ボランティア連絡会⑥杉戸町身体障がい者福祉会(6団体)

助成額総額:556,000円

(2) 行旅者旅費の支給

交通費に困窮する者に対し、旅費を支給した。

(3) 日本赤十字社杉戸町分区

① 日赤会員募集

実施期間:5月～

実績額:2,060,918円

会員数:531人

(内訳)

種別	実績額	内容
一般募金・会員	2,030,918円	各区行政区の協力により戸別募金を行った。また赤十字奉仕団による会員募集を行った。
特別会員	30,000円	特別会員(1万円以上)の募集を行った。

② 被災者援護

火災:3件(弔慰金2人・布団セット2組)

③ 義援金・救援金

杉戸町役場及びすぎとピア等公共施設に募金箱を設置、義援金を募集し、日本赤十字社を通じ被災地に送った。

・ウクライナ人道危機救援金

実績額:275,788円

・トルコ・シリア地震救援金

実績額:123,996円(窓口受付分のみ)

(4) 埼玉県共同募金会杉戸町支会

① 赤い羽根共同募金運動

実施期間:10月～3月

実績額: 3,134,592円

(内訳)

募金種別	実績額	内容
戸別募金	2,845,333円	各行政区の協力により戸別募金を行った。
街頭募金	1,207円	いきいきふれあいまつり会場に募金箱を設置、募金を募った。
学校募金	97,366円	町内各小・中学校、高等学校で募金を行った。
職域募金	184,598円	杉戸町役場、社協、福祉関連施設や公共機関等からの募金を行った。
個人大口募金	200円	個人より共同募金に協力をいただいた。
法人募金	5,888円	地域貢献型自動販売機設置企業からの収益の協力をいただいた。

② 歳末たすけあい運動

実施期間:10月～3月

実績額: 1,585,058円

(内訳)

募金種別	実績額	内容
戸別募金	1,545,509円	各行政区の協力により戸別募金を行った。
大口・団体募金	39,549円	各種団体、企業、個人による大口・団体募金を行った。

※事業報告附属明細は省略。